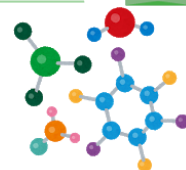


要請訪問 代表授業指導案検討会 No. 2

化学変化と原子・分子



めあての達成に向けて、校内研修に関わる「学習の調整」や「ICT機器を効果的に用いた授業実践」について、授業者から提案があり、各班で熱心な話し合いが行われました。

実験の前に限界があるのかどうか、根拠のある予想をたてさせたらどうか

もっとねらいを絞った方が
良いのでは？

全体で確認するときは、写し
出されたものが有効。

考察をどう話し合い、どう発表
するのがよいのかしら。

【話し合われたこと】

- ★ めあてをもっと明確にしていけるためには？
- ★ 生徒主体の課題のめあては？
- ★ 予想を立てる時間をどのように確保するか？
- ★ 実験結果はどのように扱ったらよいのか？
- ★ 考察のあとの話し合いや共有の仕方は？
- ★ タブレット端末の効果的な使用方法とは？
- ★ 3つの確認すべきグラフの取り扱い方はどうすると良いのか？

【校長先生より】

- 予想される生徒の反応を書いた方がよい。
- 生徒の思考の流れを明確にする。
- 結果と考察をどのようにするのか、具体的に記述するとよい。

